



DJIレポート

No.140 20250630

国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan International Report 国際資料研究所 Documenting Japan

〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 phone 0466-31-5061 Email: djiarchiv@yahoo.co.jp

もっと考えよう!藤沢市文書館(5)

～OUR Project 委託事業者選定プレゼン傍聴～

国際資料研究所 小川 千代子

6月22日、藤沢市役所の「OUR プロジェクト（生活・文化拠点再整備事業）基本設計委託にかかる事業者選定のための公開プレゼンテーション審査」（下図「Day2」）が公開で実施されたので、傍聴した。朝9時から13時まで、3組の発表があった。冒頭には市長も挨拶、その後1組20分の発表とそれに続く40分の質疑応答、合計3時間を全部聞いた。80頁に及ぶプレゼン資料は紙で配布され、終了時点で回収された。

3組のプレゼンはいずれもよく練られたものだった。基本設計の委託先を決めるた

めのプレゼンは、空間設計や意匠表現を説明するものだった。筆者にはなかなか難しかった。筆者の一番の関心事、藤沢市文書館＝アーカイブに関しては、回収された配布資料には、記憶の限り言及はなかった。

日程の都合で6月15日「管理・運営計画策定業務委託」の傍聴はかなわなかったが、22日のプレゼンの限り藤沢市文書館の機能と新市民会館構想のすり合わせは、手付かずの印象。新市民会館に包含される？藤沢市文書館がその本来機能をどう位置づけるのか。現状は懸念材料満載だと知った。

FUJISAWA
OUR Project

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）

**管理・運営計画策定業務委託、
基本設計委託に係る事業者を
選定するためのプレゼンテーション審査を
公開で実施します!**

Day 1	Day 2
管理・運営計画策定業務委託	基本設計委託
日 時 2025.6.15 (日) 9:00-13:00 (8:30受付開始)	日 時 2025.6.22 (日) 9:00-13:00 (8:30受付開始)
場 所 ※2日間ともに同会場 藤沢市役所本庁舎 (藤沢市朝日町1-1)	

↑図は藤沢市 HP より

おもな内容

 もっと考えよう!藤沢市文書館(5) OUR Project プレゼン傍聴……1
 散歩道 最高裁判所傍聴……2

DJIレポート No.140 20250630

 文献/あしあと/活動 25.4. 1～6.20……3
 巻末随想①バラ ②喜寿の会 ③オリトの雄姿……4

最高裁判所で口頭弁論の傍聴

2025年4月18日、情報公開クリアリングハウスを原告として国を相手に行われている裁判の口頭弁論が最高裁判所で行われるので、傍聴のお誘いメールをいただいた。最高裁！行くことにした。

裁判の傍聴は誰でも先着順で傍聴可能ということとは、なんとなく知っていた。今回傍聴を誘われた該当事件は、令和7年4月18日午後3時00分開廷 令和5年(行ヒ)第335号。

裁判で争っているのは警察庁秘密個人情報ファイル簿の一部不開示決定。ほぼ内容が不開示だったところから、東京地裁で一部勝訴し6割くらい開示され、さらに東京高裁で一部控訴が認められ、開示範囲が拡大されました。しかし、高裁判決を不服として上告したところ、受理されました。ちなみに、最高裁に上告受理申し立て、上告申し立てをされる件数は民事事件で4000件以上。そのうち口頭弁論が開かれるのはごく少数で、例えば2025年4月に弁論が開かれるのは3件のみ。地裁や高裁での判決の見直しをする場合に開かれることが多いのですが、実はその回数はとても少ないのが実情らしい。

この裁判、いろいろな経緯があるもので、しかも最高裁で争点になる点もいろいろ説明がないとわかりにくいという難点があるという。どんな裁判で何が争点になるのかなどは、前日に解説のzoom説明会もあり、ぜひ行ってみたいと思い立った。親しい友人を誘い、最高裁へ向かう。私はキャンセル者が出たため最後の一名で傍聴できた。

ご案内メールを見直すと、注意書に「最高裁の口頭弁論は先着順で傍聴できます。[詳細は最高裁のウェブサイトをご覧ください](#)。／傍聴するには14時半までに行く必要があります。／なお当法人（ご案内元）での傍聴席の確保などはできませんので、あらかじめご承知おきください。」とあった。

当日の思い出メモ

【最高裁判所に足を踏み込む】

4月18日には最高裁判所の傍聴に行った。当日は友人と待合せ、ランチしてから最高裁判所に向かった。指定時間20分前に到着すると、最高裁判所の傍聴人入口には人だかりがあった。「もう締め切りました」と係員に言われて愕然。しかし、続けて「でも今1人だけ今キャンセルが出たから入れます」！私は友人を置き去りにして傍聴に滑り込んだ。

最高裁判所って場所には初めて足を踏み込んだ。岡田新一建築事務所の設計になる威風堂々と



したあの石造りの建物、と承知していたが、足を踏み込むのは初めて。裁判の傍聴人36名は、係員に誘われ、建物の長い外階段をぞろぞろ登った。

3階ぐらいの高さまで徒歩で外階段を上る間に、何かゴルゴダの丘に登るイエスのような、変な気分になった。長く苦しい階段…。

【傍聴人用ロビーから法廷へ】

ゴルゴタ階段を何とか登り終え、ようやく最高裁の建物内に入ると、そこは傍聴人用のロビー。もちろん、手前には警備のチェックポイントがあって、荷物チェック後、備付ロッカーに持ち物は入れねばならない。身ぐるみ剥がれた傍聴人たちは、傍聴人口ビーでしばらく待たされて、ようやく法廷と呼ばれる小部屋に案内された。私たち傍聴人は第3小法廷へと廊下を歩く。印象としては、結構な距離を歩いたようだ。

【第三小法廷に入廷】

第3小法廷の傍聴席にようやく座ったら、案内担当職員から注意事項の案内があった。覚えているのは「裁判官が入場してきたら、傍聴の方も皆起立するのが通例となっております。よろしくお願いします。」と言う口上。まもなく正面のドアが開いて宇賀克也裁判長が入廷してきた。宇賀さんは公文書管理法の先生だ。続いて他の裁判官も入ってきたし、原告側、被告側の弁護士も左右に分かれ、ずらっと並んだ。この第3小法廷の中は、壁や家具のしつらえが、なんとなく全て丸みを帯びている。よく写真などで見る、四角い裁判法廷とはちょっと趣が違った。なんていうのかしら。円形劇場みたいで、裁判官や検事、弁護士らの法律家、我々傍聴人までもが座る位置が、いずれも柔らかなカーブを描いたような位置関係になっていた。それが、そこはかたなく「民主的」みたいな雰囲気を出していた。(小川千代子記)

■●アーキビストの消息■機関●個人

【4月1日付】

■藤沢市文書館 館長 古谷 美保子 氏

●西村 慎太郎氏 総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻日本文学研究コース長、教授

●石本理彩氏 広島工業大学 工学部建築工学科准教授、専門は日本近現代史、アーカイブズ学。近代日本における従軍記者制度に関する研究、原爆とアーカイブズに関する調査活動、デジタルアーカイブを活用したアクティブ・ラーニングについて研究している。

●訃報

●照沼 康孝氏 6月9日逝去。元文部科学省主任教科書調査官。東京大学百年史、同150年史編さんに手腕を発揮。本誌3頁文献紹介欄掲載の近著『日本史教科書検定三十五年 教科書調査官が回顧する』は氏の人が溢れている。享年73、合掌。

●Maria Pia Rinaldi Mariani (マリア・ピア・リナルディ・マリアニ)氏 2024年10月28日死去。

イタリア、シエナ出身。イタリアのアーキビストで1980年代から21世紀初頭にかけてICAを中心に国際的にも活発に活動し、数々の業績を残した。個人的思い出は2000年フィレンツェ開催の「欧州アーカイブ会議」の際、ベッキオ橋付近を一緒に散策した時のこと。この時ピアに「ウフィツィ美術館はメジチ家の事務所（オフィス）だったの。『ウフィツィ』ってイタリア語でオフィスのことなのよ」と教えられ、目が開いた。享年83。合掌。

(3月21日付 ICA フェロー、ローラ・ミラーのメール投稿記事による)

■国立公文書館新館他の起工式挙行

6月2日(月)、新たな国立公文書館及び憲政記念館整備工事起工式が、内閣府及び衆議院主催により、

国会前庭北地区にて行われた。【国立公文書館 HP】



↑写真は逢坂誠二氏のFBから引用。

福田康夫氏と逢坂誠二氏のツーショットが嬉しい。

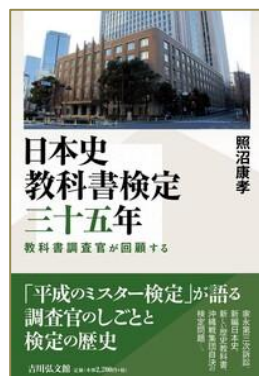
■松江市文書館(仮称)基本計画

島根県松江市ではホームページに【松江市文書館(仮称)基本計画の概要】を掲載した。この中の、「松江市文書館整備までのスケジュール」には、2025~26年度に公文書管理条例、文書館設置条例、施行規則を制定し、2026年度末には文書館開館の予定とある。施設面の役割は、来館利用施設=文書館と、歴史公文書の保存・管理用収蔵施設=庁舎外文書庫の二本立てと、公開・活用機能と収蔵庫機能を整備する。文書館施設実施設計は今年度中、2026年度中には文書館施設工事終了、開館の予定。基礎自治体文書館整備は急ピッチだ。令和8年度中の松江市文書館開館に向け、資料の整理と保存、施設整備を進めている。(ち)

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆■ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●

●照沼 康孝『日本史教科書検定三十五年 教科書調査官が回顧する』

著者照沼康孝氏は文部科学省の元教科書調査官。白表紙が教科書として適切かを調査する検定現場の実態や文科省の内実、検定関係文書の存在を初めて公にした回顧録。若き日の著者を知る者として、教科書調査官着任後35年の長きにわたりその職を全うされ、さらにその回顧録をまとめられたことに深い感銘を覚える。オビの「平成のミスター検定」は、著者を知る誰もが共感を覚えるニックネームだ。博識の上に公平公正中庸の著者による回顧録上梓に最大の敬意を表する。照沼さん、天晴れ！おめでとうございます。四六判220p、吉川弘文館、2025年4月11日、定価税込2,420円。



◆関根 豊「職務分野「アーキビスト」の創設について ―神奈川県におけるアーキビスト人材の養成・確保に係る展望と課題―」『神奈川県立公文書館紀要』第13号

「令和元年度から神奈川県立公文書館に勤務し、令和4年度に認証アーキビスト資格を取得した筆者は、この度、神奈川県の既存の人事制度を活用して、一般行政職の職務分野の一つとして独自分野「アーキビスト」を創設することを試み、令和6年11月にその承認を受けた。」「このことは、当該分野を選択した職員は、行政職でありながらも、以後はその専門性が考慮された配置が行われるとともに、それが明文化された形で保証されたことを意味している。」と著者は述べている。確かに認証アーキビスト資格が一般行政職の独自分野としての認知を得ていく道筋がつけられてきたようだ。認証制度により地方公文書館でも専門職アーキビストが一般行政職の独自分野として定着し、アーキビストの位置づけが更に高まることを期待する。

DJI 国際資料研究所の主な活動

2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 20 日

＜執筆＞

DJI レポート No.140 20250630 A4 判 4p.PDF (本誌)
ナスの日通信 5月号 20250517,メルマガ配信(本誌 2 頁
に転載)

＜調査＞

4月3日 情報公開請求につき通知：今年 1 月 30 日
藤沢市に請求した辻堂東海岸 2 丁目松林公園設置経過
の資料、対象資料約 3000 枚で黒塗処理に時間を要するため、
2026 年 3 月 31 日に公開との書面連絡受領。

＜参加＞

4月6日 旧交を温める会,M,S,O 計 5 名湘南で会食
4月18日 6月3日 最高裁判所口頭弁論傍聴。17
日には zoom 事前説明会【本誌 2-3 頁参照】
4月26日 辻堂東海岸 3 丁目町内会役員会、東海岸
市民の家、藤沢市辻堂東海岸
5月10日 湘南アマデウス合奏団
合奏団第 56 回定期演奏会 藤沢市民会館大ホール
5月18日 千種台喜寿
の会 明治ライアス社、
名古屋(本誌巻末随想)
5月21日 図書館ネットフォーラム表彰式 日本教育会館、



東京竹橋。益田宏明氏表彰。『行政文書管理』の継続
的発行、150 号。祝！

5月24-25日 記録管理学会研究大会、大阪大学箕
面キャンパス

5月27日 アーカイブの絆午後茶会、東京・品川

6月1日 加藤幹雄追悼コンサート 今井館講堂 東京駒込

6月8日 八雲オケストラ定期演奏会 杉並公会堂(欠席)

＜その他＞

4月7,14,21,28日,5月5,12,19,26日,6月2,9,16日

ラウラ先生ルーマニア語お稽古 on-line

4月15日 トコトサと丸会談

5月6日 トコトサ,トコトサ,リコサとお茶の会 千葉市稲毛

5月15日 時局講演会 S 議員登壇

5月25日 万博記念公園と太陽の塔 大阪

5月29日 Tさんお見舞 横浜南 H

6月15日 A 議員主催原発問題講演会,藤沢

6月18日 長男一家来宅夕食

＜健康管理＞

4～6 月 医療受診録 辻堂金沢内科クリニック 6 回、や
の歯科 10 回、マリソル整形外科 24 回、辻堂南口耳
鼻科 1 回、星野眼科 1 回、はじめクリニック 1 回、介護
保険ヘルパー週 1、ケアマネ 1 回来宅、6 月 10-11 箱根静養

■ 巻末随想

●バラが咲いた



もう 10 年以上も前、近
所の駐車場的空き地につ
るバラが咲いていた。毎
年春になると、実に見事
なバラの花が咲き誇る。
しかし、道行く人はその
バラをめでることもなく、
道に伸びすぎた枝とバラ
の花たちを踏みしだいて
いく。私はその踏みしだ
かれた枝をはさみで切っ
て持ち帰り、庭先に挿し
てみた。バラは元気を取り
戻し、2 年後ぐらいか

ら花を咲かせるようになった。枝を伸ばし、花を沢山
つけるようになった最初の年は 26 束の花が咲いた。
以来毎年豪華なつるバラを楽しめるようになった。今
年はとりわけたくさんの花芽がつき、数えきれないほ
どのつるバラが咲いた。

嬉しい！皆様、ぜひ御覧下さい。

●喜寿の会@名古屋

名古屋の洋子さんが喜寿の会を企画してくださった。
同期は今年度、喜寿を迎えるからお祝い会という趣向。
里美さんは、趣味のミニ振り袖の作品を会場に飾り、



集まった喜寿の仲間に展示してくれた。子供のころか
らの仲間がこうして集まれるのはなん
とありがたいことだろう。でも、私の
喜寿は半年先だよね。ウフフ。

●DJI ネコ科写真集 : dji:140

筆者はネコ派。だから、本欄には可能な
限り、ネコ科動物写真を取り上げます。

オリト 旭山動物園のライオン

今回は北海道旭川市の旭山動物園
のネコ科、ライオンのオリトの写真
を拝借しました。

その凛々しい姿を皆様にもお愉し
み頂きたいのでご紹介します。(ち)

